

6階ユニット

看護師長 高本 京子

1 部門目標

安全で質の高い看護をおこない、地域につなげる

2 業務体制・スタッフ

内科外来・病棟（消化器内科・呼吸器内科・糖尿病内科 53床）

受け持ち制、固定チームナーシング、7対1看護体制

看護師 26名 看護補助者 3名 介護福祉士 1名

3 業務実績

令和元年度の在院患者数は 11,635 人、一日平均患者数は 35.4 (前年度比+0.2 人)

病床稼働率 67.0% (前年度比+0.6%)、平均在院日数 8.9 日、死亡件数は 45 件であった。

4 1年間の総括

今年度は、定期的に行っているカンファレンス以外に、デスカンファレンスや倫理カンファレンスを行い、倫理観を高め合う機会を作ることができた。自己の実践した看護を他のスタッフが承認し、お互いに認め合う場をつくることで人材育成にもつながった。また、今年度の身体抑制患者数は昨年度より増加したが、抑制日数は短縮できた。これは、スタッフの身体抑制に対する倫理観が育成され、「どうしたら身体抑制の解除ができるか」という視点で考えられるようになった。

継続看護の充実を図るために、定期的を開催している退院支援カンファレンスの方法を見直した。その結果、内科ユニットの看護師チームとしての意見を持って、カンファレンスに参加できるようになった。また、認知症や認知力が低下している患者の胃瘻造設の事例が増加していることから、患者、家族の意思決定支援を含めた退院支援が求められている。

5 今後の目標

倫理的配慮を意識した認知症看護や早期の身体抑制解除を目指し、認定看護師と協働し、さらに看護の質を高めていく。多職種とのカンファレンスの内容を反映させた個別性のある看護計画を立案し、退院後を見据えた退院支援が行える看護師の育成に取り組み、退院支援を行っていく。